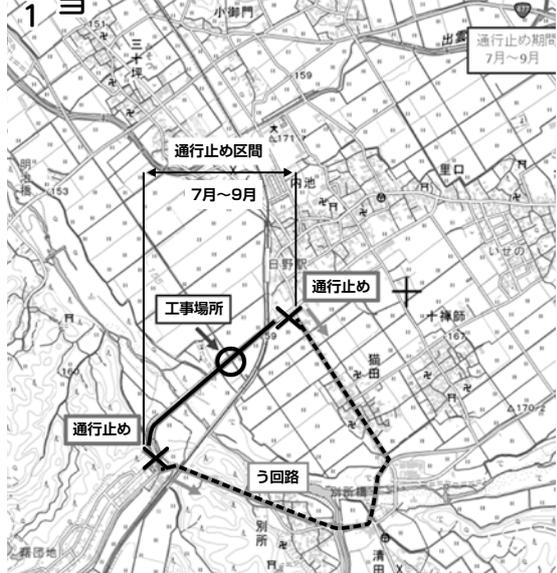


# 町道内池水口線が通行止めになります

内池バイパスのラウンドアバウト（環状交差点）の工事に伴い、下記区間（町道内池水口線）の通行止め（車両のみ）を行いますので迂回をお願いします。ご迷惑をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いします。

◆問い合わせ先  
 建設課 道路河川担当  
 ☎0748-521-6561



# 滋賀農業公園ブルーメの丘 ひまわりフェスタを開催します



滋賀農業公園ブルーメの丘では、5月17日（日）から営業を再開しています。

営業再開に合わせて、マスク着用を呼びかけるなど感染予防対策を行っています。

7月下旬には、ひまわり開花に合わせて、ひまわりフェスタを開催します。

日野町在住の方は、入園窓口で本人確認できる身分証明書の提示で入園無料となります。

## 綿向雑感

— 2020年7月 —  
 日野町長 藤澤 直広

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されて1か月余になります。東京などを除き落ち着いていることはありがたいことです。（原稿執筆時）コロナ禍を通じて、ネオンがきらめく歓楽街やゲームセンター、人々が行き交うスクランブル交差点、華やかにみえる都会の脆さが明らかになりました。自然と共生する社会、人々の暮らしが大切にされる社会こそ人間社会の根本であることが再確認されました。ほどよい田舎の日野町が大切にしてきた社会こそコロナ禍のあとの社会のモデルになるものです。

現在の日野町が誕生して65年、平成の合併をのりこえた自治体の力が、大きな効果を発揮していません。都市部で申請書すら届いていない特別定額給付金、日野町では9割以上の支給を完了しました。公民館での申請支援など住民と役場行政の身近な関係がきめ細かな対応を可能にしました。

6月からの学校再開、すぐに

給食も再開。休校中も預かりの児童に給食を提供しており（県内では日野町と野洲市のみ）円滑に実施できました。かつて、給食をめぐって「議会多数派に「お母さんの愛情弁当のほうがいい」とか「給食センターや民営化で経費削減すべき」と反対されましたが、それぞれの学校で直営で実施する方式が真価を発揮しました。

保健所や衛生研究所の体制の不備も指摘されました。なんでも民間に任せれば上手くいくと公的部門を縮小してきた国の姿勢が厳しく問われています。自治体から国への意見や提案も相次ぎました。自治体は国の下請け機関でなければカーボンपीでもありません。住民の状況をしっかりと把握し、国にもいふべきことは言う地方自治の本旨をいかにすることが大切です。

また、地方自治は、民主主義の学校です。一部の人のよって、町政が左右されてはなりません。自由闊達な議論ができる風土が大切です。これまでもこれから住民の声が町政に届く、公平公正で心豊かに暮らせる日野町をまっすぐに伸ばすために力を合わせたいと思います。

# ひのっこだより

日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

## 梶谷こども園

【教育・保育目標】心豊かでたくましい子どもの育成

第1園舎は3～5歳児が55名、第2園舎は0～2歳児が37名、計92名の園児が在籍しています。3～5歳児は、短時間部と長時間部という生活時間に違いのある子ども達と一緒に過ごしています。保護者の就労に関係なく同じ教育、保育を受けられることが特徴です。園舎は分かれています、運動会や親子のつどいなどの行事を一緒にして、きょうだいと一緒に楽しめる機会ももっています。園舎が分かれていることで、それぞれの年齢に適した環境が準備でき、安心、安全でのびのびと遊べる場所が魅力です。

### 【第1園舎】

自分から「やってみよう」という気持ちで主体的に遊びや生活を進めていける環境や関わりを大切にしています。

つかまらないぞ



園庭の大きな築山や遊具で友だちと“おにごっこ”。体を使って遊ぶ中で自然と体力や体幹が鍛えられていきます。

自分から環境に主体的に関わり、友だちや先生に自分の思いを伝え、試行錯誤を繰り返す過程で学びがいっぱいです。

それ、いいね



こうしようか

### 【第2園舎】

家庭的なゆったりした環境の中で自分の感情や思いを安心して出せる環境や関わりを大切にしています。

なんだろ？



見ててね。パカッ!

「先生と一緒になら安心」保育者との安定した信頼関係を築き、安心して遊べるように努めます。

食事、睡眠、休息など、一人ひとりの生活リズムを大切にしています。

良いお天気だね…



暖かくて、気持ち良くて寝ちゃったzzz

## こばと園

【保育目標】◎明るく丈夫な子 ◎友だちと仲良く遊べる子 ◎よく考える子

こばと園には102名の園児が在籍しています。今年度も、豊かな自然に囲まれた環境の中で地域の方々と関わりながら、「やってみよう!」「やってみたい!」と子ども自らが主体的な気持ちが育つように環境を考え工夫し、遊びや生活を楽しんでいます。園舎からは色々な色や絵の描かれた電車が見え、泣いている子どもも電車を見て気持ちを和ませたり、「次はどっちから来るかなあ?」「何色かなあ?ピンクかな?」と、通るのを楽しみにしています。散歩中に出会うと、警笛を鳴らしてくださることもあり、子ども達は大喜びです。

園舎横の田んぼで春探し♪



せんせい! だんごむしみつけた!



散歩に行くと草花や、小さな生き物達との出会いがあります



ありさんとありさんがごっつんこ♪

日々の経験や活動を通して、一人ひとりの子どもの伸びようとする“芽”を大切に育てています。思いっきり体を動かして、「何かな?」「おもしろい!」「不思議だな!」と心を動かし、周りの人との関わりの中で心を育てています。

スコップいっぱい並べよう!



色水と石鹸混ぜたら色変わったよ!



大好きな電車も通ります



◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583